

あのとときの常呂・写真館

VOL 160

(1998年)

平成10年11月22日

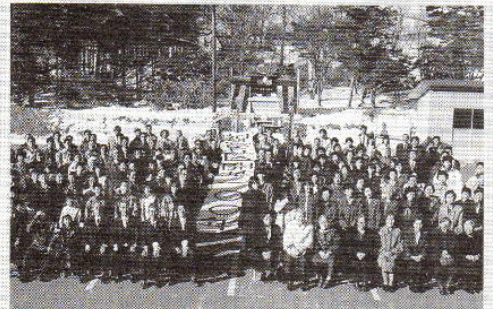
富丘区開基100年式典・記念碑除幕

▶富丘区の開基100年記念式典の概要は、「広報ところ」12月号の〈まちの話題〉で紹介しています。(下記に貼り付けました)

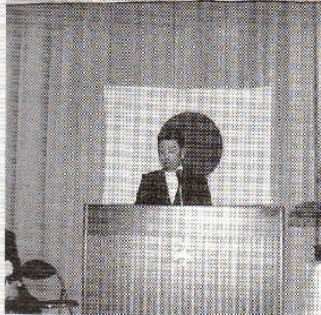
富丘区で開基100年記念式典を開催。先人たちに感謝し、
区民全員で2世紀に向けさらなる発展を互いに誓う！

11月22日、明治32年に福島県人齊藤鐵四郎氏により、最初の開拓のくわが入れられた富丘区の開基100年を祝う記念式典および祝賀会が富丘小学校体育館で行われました。

式典は、土田登実行委員長の先人に対する感謝の気持ちと、2世紀に向けさらなる飛躍を目指す熱意と誓いを込めた式辞に続き、熱気球の搭乗体験やジャンボカボチャの展示、記念史(平成11年3月発行予定)作成などの事業報告、富丘青年部から鳥居の目録の贈呈などが行われました。その後に行われた祝賀会では、ジャンボカボチャの重量当てる入選者の発表や、次代を担う富丘小学校児童によるリコーダー演奏、よさこいソーラン踊りなどが披露され、会場から盛んに拍手がおくられていました。また、式典に先立ち吉田留吉さんが考えた「拓頌(先人たちをほめたたえる)」の文字が刻み込ま



祝 富丘区
100年記念式典



れた記念碑の除幕式、富丘区開基100年の横断幕をもつての記念撮影、そして全員の願いを記した札をつけた風船を飛ばすなど、趣向をこらした様々なイベントを行い、記念の年を楽しみながら盛大に祝っていました。富丘区のみなさん、本当におめでとうございました。



●富丘区の開基100年事業の準備は、平成7年の区の定期総会から始まりました。議長の採択により100年事業の実施を決め、事業の推進は新しい役員に一任。翌8年1月11日に区役員、区諸団体合同会議が100年事業のアンケートを行い、85%の賛成を得て事業の開始が決定します。●2月7日に準備委員会が発足し、17日には区臨時総会を開催し、平成10年の1年間を100年記念事業の年にするようになりました。●記念事業は、平成10年3月の看板作りに始まり、7月10日には区農協青年部から富丘神社に鳥居の建立寄贈、快晴の7月19日には120人が参加して熱気球試乗会と続きました。



この熱気球試乗は、イベントを担当する事業部が発案し、小清水町の熱気球クラブに依頼したもので、悪天候のために予定が変わり、4度目で実現しました。

●富丘区100年事業最大のイベントは11月22日の記念碑の除幕と記念式典。当日、コミュニティセンター駐車場西側の小高い場所に建立された記念碑の除幕式は、180人の出席の中、午前10時に富丘小学校児童によって行われました。●その後、全員の記念写真撮影、願い事を書いた紙を付けた風船飛ばし、富丘小学校での式典・祝賀会へと移りました。

●記念碑の題字「拓頌（たくしょう）」は、平成11年3月に跛行した『富丘百年史』のタイトルにもなっています。



*全員揃っての記念写真の後に、願い事を書いた風船を飛ばしました。





*右：富丘小学校体育館での
式典・祝賀会



*上・右：この2枚は、11月29
日に行われた富丘小学校学芸会
で踊ったよさこいソーランと
リコーダー演奏です。
(祝賀会での写真は未所蔵)

